

<日刊 19581号>

東京投資育成 11月の投資実績

ニチボウなど4社に2.3億円

国の政策実施機関である東京中小企業投資育成は、11月分の投資実行内容を公表した。FA（コンピューターによる工場の自動化）センサーやシステム機器などを製造するピー・アンド・プラス（埼玉県ときがわ町）や、防災設備のコンサルティングを行うニチボウ（東京都品川区）など4社に対して新規投資

計2億3420万円を実行した。

ピー・アンド・プラスは、非接触で電源と信号を供給・伝送できる「リモートシステム」を独自製品に持ち、自動車関連業界を中心とするFA設備に幅広く利用されている。東京投資育成は「今後も電磁結合技術を利用し、非接触でのバッテリー充電などの分野に参入が可能で、

安定した成長が期待できる」と評価した。投資額は7500万円。

また、ニチボウはコンサルだけでなく、防災設備の開発、設計、施工、メンテナンスと一貫したサービスを提供。特に、スプリンクラーなど消火設備の施工に強みがある。投資額は3600万円。

このほか、独立系保険販売代理業のT.F.K（東京都港区）に3000万円を投資した。

東京投資育成の2010年度の実績は、新規投資が29社11億4700万円、再投資が8件2億2300万円。11月末時点の投資残高は、871社に対して296億5900万円（投資事業有限責任組合による投資を含む）。